

授業科目名	動物園総論Ⅰ	科目コード	2303009		
開講クラス	動物健康管理学科	コース	動物園・水族館・ドッグ インストラクターコース	学 年	1 年
担当教員	坂元祥彦				
	実務経験教員（有・ <input type="checkbox"/> 無） 実務経験内容				
開講時期	前期・後期・ <input type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	62 時間	
	<input type="checkbox"/> 必須・選択・選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト1	書 名				
	著 者				
	出版社				
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	動物園にできる事（川端裕人著）				
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義・演習・実習				
<p><授業の目的・目標></p> <p>博物学や動物学を基盤とした近代動物園を経て希少種保存を主目的とした現代動物園に至るまで、単なる動物展示施設やレジャーランドとしての存在意義は失われつつあり、新たな動植物園等の認定制度が検討されている。これまでの動物園が歩んできた道筋やこれからの動物園が目指すべき「環境教育施設」、「種保存施設」および「野生動物研究施設」としての役割やポリシーについて認識し、動物福祉に配慮した動物飼育の実践を修得する。後期は野生動物の生態学を中心に、進化の過程や生存戦略を学び、飼育を担当する上で必要な動物の特性について留意しながら、飼育を実践できるようにする。</p>					
<p><授業の概要・授業方針></p> <p>講述およびスライド・ビデオ映像等を用いた説明を心がけ、単なる知識の修養ではなく、現場に立った時に動物のどこに注目しどんな対応を取らなければならないのか、自ら考え、行動できるように準備をさせる。毎時プリントを配布。</p>					
<p><成績基準・評価基準></p> <p>前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60～100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。</p>					
<p><使用問題集・注意事項></p>					
<p><関連科目他></p> <p>動物園総論Ⅱ</p>					

授業科目名		動物園総論Ⅰ	
2h/回	授業内容		備考
1	ガイダンス		
2	動物福祉の基本		
3	概論：動物園とは何か？ 定義、形式と分類、社会的役割、世界動物園保全戦略		
4	動物園の展示方法 生態展示		
5	ランドスケープイマージョン、		
6	環境・行動エンリッチメント等		
7	環境エンリッチメント概論 手法・評価・調査方法		
8	環境エンリッチメント概論 手法・評価・調査方法		
9	動物園の希少種保存機関としての役割 種保存会議、種保存委員会（SSCJ）、類別繁殖検討グループ 保全繁殖専門家集団（CBSG）、 世界動物園機構（IUDZG/WZO）、ブリーディングローン ズーストック計画等		
10	展示動物の飼養及び保管基準 一般原則、定義、共通基準		
11	展示動物の飼養及び保管基準 動物の健康及び安全の保持、生活環境の保全、期外套の防止		
12	展示動物の飼養及び保管基準 共通感染症、動物の記録管理、輸送時の取り扱い、施設廃止		
13	まとめ		
14	生物の進化と特性について 地球の生命史		
15	生物の進化と特性について 睡眠の進化		
16	生物の進化と特性について 恐竜と鳥（気嚢）		
17	動物の生態 生体用語の理解、バイオーム		
18	動物の生態、進化と特性		
19	動物の生態、収斂進化		
20	動物の生態、生体用語の理解バイオーム		
21	動物の生態、生体用語の理解 生体的ピラミッド		
22	動物の行動、生得的行動		

23	動物の行動、習得的行動	
24	縄張り制	
25	縄張り制	
26	群れと単独生活	
27	群れと単独生活縄張り制	
28	コミュニケーション	
29	コミュニケーション	
30	繁殖戦略	
31	繁殖戦略	